

学校だより



平成29年度 第16号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H29.9.5

9月の俳句 秋の雲なほ青空といへるほど

稲畑汀子

前号では、夏休み中の生徒の活動をお知らせしました。生徒のみなさんがそれぞれの体験について感想を書いてくれましたので紹介します。また、校舎の大規模改修がほぼ終わり、8月31日からはきれいになった教室での生活が始まりました。机・椅子の移動等も笑顔で一生懸命取り組んでいました。出会った生徒に感想を聞いてみましたが、喜んでいる生徒がほとんどでした。

1 美術部陶芸体験

7月21日（金）、美術部は益子町に陶芸体験に行きました。窯元で、手びねりや板作り、ろくろや絵付けなどいろいろな技法で花瓶や大皿、表札や箸置きなど多くの作品を作りました。多く作った生徒は、20個近い作品を作ることができたようです。窯元の方も中学生らしい感性に感心していました。制作の様子と完成した作品と感想を紹介します。

3年1組 稲見 優希

私たち美術部は、夏休みの初日に益子町に陶芸体験に行きました。とても楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまいました。粘土の感触を楽しみながら、部員の一人一人が思い思いのデザインで作品を作ることができました。形ができた作品は職人さんがていねいに仕上げてくださいました。とてもきれいに色がついて、焼き上がった作品を見て感動しました。作品は生活の中で大切に使っていきたいと思います。

2年3組 湯浅 さや

陶芸教室の体験は、楽しくもあり貴重な体験でもありました。私はこの陶芸教室で初めてろくろを使いました。ろくろでは茶碗と湯飲みを作り、今は家で使っています。最初はとてもむずかしいと思いましたが、体験先の方に作り方のコツを教わり、うまく作ることができました。この陶芸教室を通して陶芸のよさを知ることができました。



2 栃木県中学校ソフトテニス大会男子団体優勝 関東大会ベスト8

7月27日(木)、ソフトテニス男子は、栃木県中学校ソフトテニス大会で念願の男子団体初優勝を決め関東大会出場を果たしました。強豪校がひしめく県大会で実力を発揮し、ライバル校を破りました。団体戦は部員全員の力がまとまってこそ力が発揮できます。試合に参加した選手、控えの選手、応援の生徒全員のおかげです。おめでとうございます。また8月8日に山梨県小瀬運動公園で行われた関東大会でもベスト8というすばらしい成績を残すことができました。全国大会にもう一步というところまでできました。今後も頑張ってください。

3年2組 須田 楽斗
今年の夏に行われた県総体では目標の「県優勝」を果たすことができました。これは毎日努力した成果だと思います。そして保護者や応援してくれた部員の支えがあったからだと思います。関東大会ではベスト8という結果を残すことができました。テニス部生徒、先生、保護者の全員が輝くことができた試合でした。3年間、とても楽しくきびしくもあったすばらしい部活動でした。ありがとうございました。



3 栃木県吹奏楽コンクール B部門 銀賞

7月29日、宇都宮市文化会館で栃木県吹奏楽コンクールが行われました。1週間前に小山地区吹奏楽フェスティバルで同じ演奏を聞きましたが、演奏の技術も表現も格段に進歩しているように感じました。中学生の成長のすばらしさを感じました。

3年2組 砂岡 玖羅々

私達はコンクールで仲間と助け合う大切さを学びました。練習の時はできないところも多くて、嫌になることもあったけれど、そんなときに仲間と助け合い協力することを学びました。コンクールまでにたくさん練習をしてより部員の絆が深まりました。

コンクール本番は緊張でいっぱいでしたが、良い演奏ができたのではないかと思います。目標は金賞でしたが、結果は銀賞で悔しい思いをしました。来年はさらに良い結果を残してほしいと思います。

2年3組 森下 彩那

今年のコンクールは銀賞を取ることができました。去年の銅賞から銀賞にあがってとても嬉しかったです。そして、私たち2年生にとって初めての銀賞だったので、印象に残ったコンクールでした。

その反面、悔しい思いもあります。南河内中はゴールド金賞を目指して夏まで練習してきました。しかしゴールド金賞には届くことはできませんでした。でも、1人1人練習した成果がでたと思うことはよかったです。



4 下野市中学生広島平和研修

8月5日(土)～7日(月)、下野市と壬生町と合同で、各中学校の2年生2名、計12名で広島への平和研修に参加してきました。本校からは山本雅さんと高田真羽君が参加し、6日の平和記念式典へ参列し、被爆者の方のお話を聞いたり、資料館の見学などの研修や、灯籠流し、宮島への観光により友好を深めることもできました。平和の尊さや命の大切さについて、自分の目で見て、自分で体験できるいい機会となったと思います。夕顔祭で発表しますが、先に感想を書いてもらいました。

2年1組 山本 雅

私は3日間、広島県広島市へ訪れ、学習の目的であった「核兵器の恐ろしさ、平和の尊さ、生命の尊厳について」より理解を深められました。私が一番印象に残ったことは、2日目に行われた平和記念式典です。予想を上回る国内外からの参加者の多さに、世界各国の平和への強い関心に気がつきました。今では当時の広島をイメージできないほど復興が進み、悲惨な街並みもきれいに整備され、住みよい町になっていました。原爆に負けない強い気持ちがあったからこそ今の広島市があると思いました。戦争や原爆の記憶を風化させることのないよう、微力ながら、今回の経験をあらゆる機会に伝えていきたいです。

2年3組 高田 真羽

僕は下野市中学生平和研修派遣に参加してたくさんのことを学びました。平和記念資料館では戦争当時の様子が、頭の中に思い描けるほどリアルに感じられ、また被爆体験者の方の話聞くことで、原子爆弾の恐ろしさについて深く学ぶことができました。初めて参加した灯籠流しは、想像していたよりも幻想的で、被害者の方々の魂にも見えました。平和記念式典では、言葉では言い表せないような緊張感と平和への思いに包まれ、この上ない貴重な体験で、僕の胸に深く刻まれました。僕は平和研修派遣団の一員として、今回の研修で学んだことを、身近な人から学校や地域の人まで、広くたくさんの方たちに伝えていきたいです。



5 下野市中学生議会

8月19日(土)、下野市では初めてとなる中学生議会が開かれました。これは将来の市政への参加と、現在の議会にも中学生の意見を反映させようとする目的で、本校からは伊沢梨那さん、塚原佳成子さん、神戸省吾君、小林優作君が参加しました。一般の方はほとんど入ることのない議場で、市長や教育長に堂々と質問をしました。伊沢さんと塚原さんは、「市の福祉・介護の対策について」、神戸君と小林君は「下野市の観光PRについて」質問し、市長が答弁に立ちました。傍聴していた議員さんが感心していたのは、堂々とした態度だけでなく、資料やグラフを見やすく掲示し、わかりやすく説明していたことです。終了後は市長とのランチトークも行われ、貴重な経験になったと思います。

3年2組 伊沢 梨那
中学生議会で、市の福祉や介護の対策について、わからないことを質問しましたが、広瀬市長がていねいに説明してくれたので、下野市のことがわかってうれしかったです。また食事のときには教育長さんと話をすることができて、いろいろなことを教えてもらい楽しかったです。とてもよい経験になりました。ありがとうございました。

2年2組 小林 優作
私は中学生議会に参加し、市政に関するさまざまな考え方について知ることができました。市内にある4校は、場所も環境も違うため、その学校で関心のある問題はいろいろで、すべてを解決することはむずかしいかもしれませんが、少しでも下野市の市政がよくなるように、これからも市政に関心をもちたいです。



6 栃木県少年の主張 下都賀地区大会に参加して

8月25日(金)、小山市立文化センターで栃木県少年の主張下都賀地区大会が行われました。この大会は、下都賀地区の各中学校の代表が、下都賀地区青少年育成連絡協議会長である小山市大久保市長や県南福祉センター長、下都賀教育事務所長等を来賓、審査員に迎えて、それぞれの思いを伝えることを目的に行います。本校からは、塚原佳成子さんが、『『いじめ』について考える』というテーマで、堂々と発表しました。どの学校の代表も身近な経験から深く気付き、考えをまとめ、思いが伝わるように工夫していて、とても中学生とは思えないようなレベルの高さでした。

3年2組 塚原 佳成子
私は今回、南河内中学校の代表として下都賀地区少年の主張に参加しました。当日まで家や学校でたくさん練習をして本番にのぞみました。本番ではとても緊張してしまいましたが、大きなミスもななく練習してきた成果をすべて出し切ることができました。本当によい経験ができたと思います。ありがとうございました。



7 下野市中学生海外派遣

8月20日(日)～26日(土)まで、下野市の姉妹都市である、ドイツ、ゲーテヘルスタールへの海外派遣に12名の中学生が参加しました。本校からは、3年生の高田楓花さん、内木睦さん、1年生の坂入峯鳳君の3人が参加しました。団長として引率した南河内第二中学校の上野校長先生に話を聞きましたが、現地の中学生とも積極的にコミュニケーションをとり、すぐに仲よくなったそうです。貴重な体験の感想を書いてもらいました。

3年2組 高田 楓花
私は今回、下野市海外派遣でドイツに行き、今までに体験したことのない経験をたくさんしました。海外の人と英語でたくさん話すのも初めてだったので、最初は不安でした。しかし今まで中学校で学習した英語を使い楽しく会話することができました。また、ドイツの人といっしょに遊んだり、スポーツをするという体験もとても楽しく、忘れられない思い出になりました。

3年2組 内木 睦
私はこの海外派遣事業を通して、日本とドイツの文化の違いにとっても驚きました。食事はもちろん、バスの中での過ごし方や学校での生活など、日本とは全く違いました。そして、自然がとてもしっかりとあり、美しい景色が広がっていることにも驚きました。また、みんなでいっしょにスポーツをしたり、パーティをしたりしてとても仲が深まりました。慣れない英語だけの会話で、初めは少し不安もありましたが、最終日には「帰りたくない」と思えるほど楽しい思い出ができました。

8 大規模改修 室内がほぼ完成 新しい環境での生活が始まりました

8月31日(木)、登校日として9月1日からの授業がスムーズに行えるよう、机や椅子などの備品の移動を行いました。8時30分の登校でしたが、ほとんどの生徒が早めに登校して、新しくなった教室やトイレなどを見て、笑顔であふれていました。備品の移動にも一生懸命に取り組む姿が印象的でした。

教室や廊下は床、壁、天井を張り替え、トイレは生徒から要望のあった洋式の暖房便座に、階段も新しくなり、手すりや滑り止めもつきました。今後も屋根等の工事が続きますので、ご迷惑をおかけしますが、工事が終了するまで学校南側での送迎はおやめください。送迎は7月までと同じく、校舎北側までお願いいたします。



9 廃品回収 大変お世話になりました 父親委員会 環境整備部の皆さん ありがとうございました

9月3日(日)、2日(土)の予定だった廃品回収が、台風の影響もあり、3日に延期になりましたが、保護者の皆さん、地域の方々の協力があり、本当に驚くほどの量の段ボールや古新聞・雑誌、アルミ缶などが集まりました。紙面の関係で写真は、次の学校だよりで紹介いたしますが、保護者、地域の方々が学校行事に関心をもち、協力してくださることに感謝しています。あわせてになりますが、父親委員会の早朝からの樹木の剪定、そして環境整備部の校内除草と本当にありがとうございました。生徒たちも一生懸命に作業に取り組んでいました。本校の生徒の勤労意欲の高さ、意欲的な取り組みなど改めてうれしく思いました。

